

平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉剛成
		全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4314 文化財調査研究事業												
所 属	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課												
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費											
	事業	010000 文化財調査研究事業											
事業目的						事業概要・効果							
文化財の保護事業を展開し、よりよい保護、活用施策を講じるために、調査及び研究を行う。						埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴う埋蔵文化財の調査確認等を実施して記録保存を行う。また、文化財審議委員会を開催し、新たな市指定文化財の指定等により文化財の保護を行うとともに、文化財保存活用倉庫の収蔵資料整理の活用のため調査・整理を行う。また歴史的町並み保存・活用のため、国の重要伝統的建造物群保存地区への選定を目指し必要な調査・研究を本格的に実施する。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進めた。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進めるとともに、重伝建や国登録名勝などの予備的調査を行った。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進めるとともに、重伝建選定を目指した基礎的調査の調査・研究を行った。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の検討を図るとともに、重伝建選定を目指した基礎的調査の調査・研究を行った。
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進めるとともに、重伝建選定を目指した各種調査・研究・調整を行う。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。また、文化財審議委員会を開催し、新規の市指定文化財の指定を進めるとともに、重伝建選定を目指した各種調査・研究・調整を行う。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		18,669	28,456
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	207	0
	地方債	0	0
	その他	65	1,072
一般財源		18,397	27,384
人員数(人)	正規職員	1.3	1.3
	嘱託職員	1.4	0.4
	臨時職員	0.0	1.0
人員コスト	正規職員	9,295.0	9,295.0
	嘱託職員	4,025.0	1,150.0
	臨時職員	0.0	1,245.0
	計	13,320.0	11,690.0
市民一人当たりの経費		0.6	0.8
総額		31,989.0	40,146.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	410	調査指導等謝礼410
11節 需用費	1,437	埋蔵文化財等消耗品598、食糧費13 調査記録写真277、燃料費198、埋蔵文化財整理室光熱水費309、修繕費42
13節 委託費	4,587	伝建調査委託2,500、シンポジウム記録作成委託委託216、発掘調査に係るシルバー委託費1672、文化財説明看板設置150、コピー機保守49
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	8	文化財各種協会等負担金8
その他	12,227	作業員賃金3976、重機等借上料836 ほか

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	533	伝建専門委員会委員謝礼347、調査指導等謝礼186
11節 需用費	2,541	伝建調査報告書印刷1419、埋蔵文化財伝建等消耗品450、調査記録写真51、埋蔵文化財整理室光熱水費349、修繕費53、燃料費211、食糧費8
13節 委託費	6,149	伝建保存対策調査委託2000、発掘調査に係るシルバー委託費882、遺構測量3,000、文化財説明看板設置195 ほか
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	5	文化財各種協会等負担金5
その他	19,228	作業員賃金6800、重機等借上料4700 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	文化財保護法に基づく適切な保存と活用を図るために欠かせない調査研究活動である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	重伝建の選定に向けた必要な調査を実施している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	重伝建に係る専門的調査に併せて、取り壊しが進む市内の歴史的建造物の記録保存も実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

重要伝統的建造物群保存地区選定に向け信州大学委託により調査を進めた。調査の進展とともに所有者も含めた住民意識の向上が課題。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>重要伝統的建造物群保存地区選定に向け、所有者や住民及び市民の理解や意識高揚を図る。 開発行為に伴う埋蔵文化財の調査を適切に行うため体制の整備を進め、インター開発等への対応を図る。</p>		<p>重伝建の選定に向け、関係住民の同意と市民の意識高揚を図る。大規模開発に伴う発掘調査対応を適切に行う。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	